

ゼミ研究活動の紹介

1. 卒論（発表予定もしくは過去に発表された卒論）と研究内容

卒論やフィールドワーク

- | | |
|--------------------------|--------------|
| ①空き家政策の在り方について | (平成 28 年度予定) |
| ②家族向け公的支出は少子化対策に有効であるか | (平成 27 年度) |
| ③水道事業の海外展開について | (平成 26 年度) |
| ④愛知県における交通事故発生原因 | (平成 26 年度) |
| ⑤児童手当の効果—児童手当の制度目的からの考察— | (平成 25 年度) |

ゼミ研究活動（演習時間中での研究内容）

2016 年度は、前半に「経済セミナー2・3月号 2015」に基づき、教育経済学に関わる論文を輪読した。取り上げられた論文のテーマは、教育効果を計測する際の遺伝要因の考慮、少人数学級の効果、親子のかかわりと教育効果等であった。論文輪読を通じて、データの特性の理解、取り扱い方、資料の作成方法、発表の方法などを学ぶ機会となった。後半はグループワークでグループ論文を作成した。

2. 特記事項（研究会、発表などの研究活動）

①他大学との合同ゼミ→中部経済学インターゼミに参加

（研究発表タイトルの一例）

- ・ロケ地に選定されることによってもたらされる経済効果
- ・行列の視覚的効果を用いたマーケティング
- ・理想的なポイントカード～R ポイントから見るポイント市場～
- ・24 時間営業は必要か？～コンビニエンスストアを例に～